

かがやく

特集 ひとりも楽し集うも楽し

夢中になってできること、なにかの役に立てること、個性が発揮できること…自分のやりたいことに出会った人。コツコツひとりで！ワイワイみんなで！楽しく元気に『学ぶ』人。いろいろな人の熱い思いが入間の町でかがやきます。

入間から世界トップチームに… 呼吸を合わせて華麗に舞う ～県立入間向陽高校ソングリーダー部～

昭和五十九年発足。ミスダンスドリル日本大会に六年連続出場。昨年は世界（米遠征）を舞台に活躍しました。三月のナショナルズ大会では、全米選手権で優勝した厚木高校との激闘の末、一／四〇〇点の僅差で準優勝。各大会では優勝三回、準優勝十回を数え、八月のミスダンスドリル世界大会（代々木体育館）でも三位に入賞しました。

大会出場者はオーディションで選抜されます。「持久走、筋トレを終わってからの衣装作りが一番きつい！でも、踊ることが大好き。」と部員。厳しい練習の中でも、部員六十二名の元気でさわやかな笑顔は絶えません。

■ソングリーダー・応援活動から発展した団体ダンス競技です。



↑ コスチュームを着て大会に臨む部員の皆さん

← 練習後の笑顔

自然を求めて… 森林の案内人

森林インストラクターの久保田鷹光さん



入間市の「自然かんさつ会」の講師を始めて八年目になります。

久保田さんは、石垣島や西表島の動植物をまとめた紀行文「八重山諸島旅日記」を今年九月に出版しました。楽しく充実した毎日を過ごしています。

久保田さんは、多くの方に森林（自然）についての理解を深めてもらいたいと森林インストラクターの資格を取得しました。



「自然かんさつ会」での久保田さん

■森林インストラクターとは、森林を利用する一般の者に対して、森林や林業に関する知識を与え、森林の案内や森林内での野外活動を行う者です。資格者は、協会登録により称号が付与されるものです。

●生涯学習とは、生きがいのある充実した生活を送るために、生涯にわたって自由に楽しく学ぶことです。

真剣に学ぶことが遊ぶこと

島崎吏さん

肩書きがズラリ

- ▽突き火文化を考える市民会議代表
- ▽昭和愛好会事務局長
- ▽峠でコヒーを飲むの会長
- ▽幻の山菜を食う実行委員長
- ▽四万十川源流マシ捕獲隊長
- ▽天然マイタケ酒造味づか相談役
- ▽クロモンズの会発起人代表
- ▽級目無番内師
- ▽小泉武夫ファンクラブ勝手委員会
- ▽山でクサヤを食べる会実践隊長
- ▽かじか酒愛飲会相談役
- ▽外釜会技術部長
- ▽語屋上げ言葉撲滅委員会委員
- ▽祝儀に花火を挙げる会顧問
- ▽山でオカリナ会会長
- ▽山菜・梅・ユズ・キノコ栽培会世話人
- ▽出張お赤飯を広げる会会頭
- ▽都市指定原獅子舞保存会メンバー
- ▽いんまキノコ愛好会会長
- ▽東阿公民館アットアップ教室講師
- ▽その他掲載不能



●好奇心いっぱいです。人生を楽しむ
名刺の裏にはたくさん肩書きが並んでいます。どれも面白く楽しいものばかり。名刺作りはお手の物の印刷屋さんだけに、肩書きは更新されてどんどん増えていきます。
面白いこと大好き、人も好き…その結果、人の輪も広がって「家族は巻き込まれて大変なんですよ。」という奥さんの声も聞かれます。
「好奇心を持って真剣に取り組むことが学びの原点」と語る島崎さん。ホームページにも、そんな活動の軌跡が楽しく紹介されています。
ホームページ www.ictv.ne.jp/~insatsu/

カメラと共に30年

入間市写真連盟会長 小林五郎さん

珍しいムササビのショット



●日常生活にはかならずカメラ
小林さんは、入間市の中でも自然豊かな武蔵野音大の環境保全の仕事に就いています。その素晴らしい環境の中で多くの写真作品が生まれました。アオサギ、ウソ、ムササビなどを撮った貴重な作品は「広報いるま」の表紙を飾りました。また、年に数回の発表展を開催しています。
今年も、初春から夏にかけて、桜山展望台に展示するためのパノラマ写真を撮影しました。
また、「なぎなた国体」広報の実行委員として、写真連盟の人達との写真取材をしました。

入間市立藤沢北小学校 おやじの会

ほっぶかい
「北父会」

手作りの看板



ペンキ塗りを終えて

●おやじの背中が教えるものは、必ず子供に伝わると…。
「パパの力の見せどころ！」をテーマに学校を通して子供たちとの接触を大切にしようとおやじの会が集い、平成六年に「北父会」が結成されました。レクリエーション中心の「おやじの会祭」、学校まわりの緑化・整備作業、交通安全標識作り、ベルマークの回収箱作成、パトロールなど、父親の得意分野で活動しています。
「子育てを看に、父親の立場でのコミュニケーションを楽しんでいます。会の発展が地域づくりにも繋がるはず。」と会長の山中原さん。会の一層の充実を目指しています。

国際交流に一役

入間市国際交流協会 市民スタッフ 中林敦子さん

万燈まつりにて



●入間と世界の架け橋に…
平成四年、外国から就業者が増えた時期、入間市では外国人相談窓口を開設しました。協会会員約八百名の中から市民スタッフが組織され、多様な国際交流活動を行政と協力して行っています。
協会理事・窓口相談員の中林さんは米国の大学院留学中に感じた外国暮らしの不安や戸惑いの体験を生かし、外国の人たちに日本の習慣・制度等を知ってもらえるよう心を砕いています。市民スタッフの一人として、万燈まつりの「世界のともだち広場」をはじめ、様々な楽しいイベントで相互交流に活躍しています。

霞川沿いの家並み



町屋通り・扇町屋

入間ぶと

入間で暮らす人たちの「ふるさと入間」のアラカルト。今日のあなたの足跡が町の歴史を刻みます。

●入間市の誕生

入間市が誕生したのは、昭和四十二年十一月一日のことです。それ以前は、黒須、高倉、扇町屋、善蔵新田の各村が合併して豊岡町となり、さらに金子、宮寺、藤沢の各村と一緒に、昭和三十一年九月三十日武蔵野町が誕生、その十年後に西武町を編入して入間市域が確定したのです。当時の人口は四五、二五八人、三十八年後の現在は二四九、八八一人(九月一日現在)になりました。

●入間市内各地名の由来

○新久：新田開発にちなんで付けられた。
○黒須：砂鉄や川鵜が多く、川岸が黒く見えたため。
○善蔵新田：村の名主であった粕谷善蔵が中心となって開発された土地であるため。
○高倉：「高倉御所」があったとされることから。
○中神：三輪神社の神を中神として称したことから。
○野田：武蔵武士の野田氏が開拓したため。

●入間市の名称

古来より当地方が入間野と呼ばれている事と「入」は豊かな収入、「間」は太陽を囲んで平和な生活を営む事を表しています。

●入間市のマーク



人間の「入」は若鷹の形にし、円は市の円満融和と団結を、中央の白い部分は、市の躍進向上をあらわしています。

- 入間市の花：茶の花
- 入間市の鳥：ヒバリ
- 入間市の木：けやき

○宮寺：狭山丘陵の平坦地にお宮があった為、宮平と称したものが宮寺になった。
○木蓮寺：鎌倉武士金子十郎家忠の妻の名が木蓮院であったことからといわれる。

タイトル文字・太田雪影さん
(本名/太田千代子さん)
絵・入間の町並み
小川満世さん

愛宕に春日水川宮何れも鎮守の社にて

久保の稲荷は昔より桜と共に名も高し

—入間市の唄つれづれ—

●郷土民謡

昭和初期に誕生した茶摘歌
♪そろふたくよ、お茶摘み娘

その他、郷土民謡「茶ッ茶小唄」をはじめ、昭和六十一年市制二十周年記念に作られた「入間音頭」。その後「根通り小唄」、「入間坂道音頭」、「入間の里」、「公民館音頭」など地域ごとに盆踊りを中心とした歌が生まれ、最も近い所では「東藤沢音頭」が誕生している。

郷土民謡狭山節は狭山の丘陵に茶の実が蒔かれ、茶を作ることが始められた頃から唄い出された。茶摘み唄は、別名「茶摘み娘」又は「茶作り歌」とも言われている。仕事の合間や夜、茶摘みを終えた女衆たちが暗い小道を連れだつて帰る時などに歌われているようだ。

●その他の歌

「仕事歌」といえば、この茶摘み歌の他に、工女が口ずさんでいた「石川組製糸工場の歌」がある。同じ狭山茶人＝繁田金六(元豊岡町長繁田武平の弟)が唄った「狭山茶造り歌」は昭和三年、SP盤としてレコード化された。現在も高倉郷土芸能保存会に受け継がれ、歌われている。

「玉のみこゑ」は大正元年につくられた。「糸挽娘」は盆踊りのリズムで歌われている。「工場節」は賛美歌を女工さんたちが大きな声で楽しそうに心から賛美して歌っていた。

斯くも目出度きこの町に
生まれあいたる嬉しきよ

「豊岡町歌」より

《見る・聞く・楽しむ・イベントガイド》まちの生涯学習イベント情報

- ユーホー ☎2966-5161
11/27(土)～29(月) 手作りフェア
(布・キルト・陶芸・ビーズ・織り・染め)
午前11:00～午後5:00
- ギャラリーこむ ☎2964-2229
10/6～17 アートフレンド呼夢秋季絵画展
10/20～31 小笠原千賀子人物画展
11/3～14 遠藤欣一絵画個展
11/17～28 新井澄子アレンジメントフラワー展
※作品展はいずれも水～日 午前11:00～午後5:00
- 古布・古道具 技利衣(ギリイ) ☎2962-1170
10/22(金)～25(月) 杉浦和子古布木綿作品展
午前11:00～午後5:00 最終日4:00まで
11/12(金)～14(日) 含笑庵表装展 午前11:00～午後5:00
11/27(土) 温もりの手作り展「技利衣の会」
午前10:00～午後5:00
- ギャラリー喫茶 くらだに ☎2965-4630
11/10(水)～14(土) 伝統工芸江戸更紗展
午前11:00～午後5:00
- 古美術 骨董 有妃 ☎090-7198-3468
平成17年2/15(火)～19(土)
布あそび展(古布作品) 午前11:00～午後6:00



「技利衣の会」より

★民間の生涯学習イベント情報を「かがやく」まで、お知らせください。

☆ご利用ください！生涯学習けいじばん

市民団体やサークルの活動PRポスターやチラシの掲示でご利用いただいている「生涯学習けいじばん」が二ヶ所増設され、富士見公園・駅前プラザ・新しきを知る公園・文化創造アトリエ交差点と計四ヶ所になりました。手作りして楽しい掲示板をぜひご活用ください。

○お申し込み・お問い合わせ

入間市生涯学習をすすめる市民の会事務局
入間市教育委員会生涯学習課 ☎04-2964-1111 (内線4123・4124)



手作りの掲示板

☆第10回いるま生涯学習フェスティバルのご案内


フェスティバルもおかげさまで10周年。今年も、子育て、福祉、環境、まちづくり、文化芸術、スポーツ等、様々な分野で活動している皆さんが多彩な催しを企画してお待ちしています。新たな出会いや発見があるかもしれませんよ。ぜひご家族でご来場ください。

日時；11月28日(日) 午前10:00～午後3:30

場所；入間市産業文化センター・入間市立図書館・児童センター・豊岡中学校、彩の森入間公園他



昨年のフィナーレ




**あなたの「学び」のお手伝い
生涯学習情報を紹介しています!!**

いるま生涯学習ガイドブック
市主催の講座、イベント、大学の公開講座等

いるま学びの場
公民館活動サークルや市内の民間教室等

市役所(市政情報コーナー)や公民館などで配布しています。問い合わせは生涯学習課まで
※市の公式ホームページでも紹介しています。アドレス www.city.iruma.saitama.jp



「茶の都出前講座」
市職員がご希望の日時、場所に各種講座をお届けします。

— 問い合わせ・連絡先 —

企画編集：「かがやく」編集委員会
発行：入間市教育委員会生涯学習課

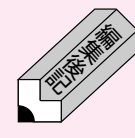


〒358-8511
入間市豊岡1-16-1
TEL 04-2964-1111 (内4123)
FAX 04-2964-4841

歩いています。

(西垣)

を求めています。今日も入間の町を
えで大切にしたいと思っ
ます。心・人・輪の三位一体
に出会う人達を一期一会の心構
にあるものを大事にし、日々
に違ひありません。最も身近
大きな人生の輪となつて行く
に導かれ、出会いに繋がれ、
ようか。「好奇心」は「学び」
の思い出づくりではないでし
れは「出会い」があつてこそ
の思い出づくりではないでし
ようか。「好奇心」は「学び」
に導かれ、出会いに繋がれ、
大きな人生の輪となつて行く
に違ひありません。最も身近
にあるものを大事にし、日々
に出会う人達を一期一会の心構
えで大切にしたいと思っ
ます。心・人・輪の三位一体
を求めています。今日も入間の町を



生きてい
ち積極
い思い
りませ
ちんか
い思
に積極
生きて